11月 秦養Fだより

秦野養護学校

令和4年11月10日

いぶき祭では、作品展示と動画の発表と、まだまだ感染症対策を講じた実施ではありましたが、学習の成果を発表できました。ご協力、ありがとうございました。今回のFだよりでは、普段の授業の様子をお伝えします。

小学部

小学部は、水曜日に落合校舎の体育館で「たいいく」の授業を行っています。サーキット運動や、大玉転がし、友だちや先生と協力するフープリレーなどで、楽しく身体を動かすことができています。

サーキットでは、マットの上で横転したり、平均台を歩いたり、ハードルをまたいで越えたりしています。1学期から継続して繰り返し取り組む中でやり方がわかり、「自分でやってみよう!」と、チャレンジする姿が見られるようになってきました。

大玉転がしやフープリレーは、2学期になってから新しく取り組み始めた競技です。はじめは、大玉を見ると乗りたくなる様子もありましたが、説明を聞いたり、友だちが取り組む姿を見たりする中で、ころころと転がしてゴールできるようになってきました。そして、フープリレーは、つながれた2つのフープに一人ずつ入り、二人でペースを合わせてゴールを目指します。フープをしっかりと手に持ち続けたり、ペアの友だちの歩くスピードを気遣ったりする姿も見られるようになってきました。

運動会らしいBGMに、「すごいね!」「やったね!」などの声もかけあい、それぞれが「できた!」という気持ちを味わっています。

中学部

中学部は、金曜日に落合校舎の体育館で体育を行っていますが、いぶき祭週間は体育館が使用できなかったため、末広小学校の多目的室で体育を行いました。ボールを使いながら身体のいろいろな動きをしたり、リレー形式で仲間と協力したりする中で、笑顔がたくさん見られ、楽しく身体を動かすことができていました。

場所が変わっても、いつも通りの活動に取り組める姿がとても立派でした。いつもと違う環境でも力を発揮できるのは、その力がしっかりと身についている証拠ですね。

将来の進路決定に向けて

高等部では、この時期、1年生は校内実習、2・3年生は現場実習にと、進路に向けた活動が中心になります。校内実習は、校内を福祉事業所や企業に見立てて、就労体験をする場です。現場実習は、実際に福祉事業所や企業に数日間～2週間出向いて、就労体験をする場となります。現場実習に出る前の1～2週間前には、福祉事業所や企業にお伺いする「事前訪問」があり、仕事内容や通勤経路の確認を実際に訪問することで確認をしてきます。この実習を何度か体験していく過程で、自身にあった場所を見つけていくことが進路決定の流れとなります。

進路決定へのスムーズな流れ、近道は、「いつでも」「どこでも」「だれとでも」活動できる力を備えているということになってきます。また、「くらす」「はたらく」「たのしむ」ことをイメージできているかも大きなポイントになってきます。ぜひ、小～中学部のうちに、これらの力を身につけておいてもらえたらと思っています。

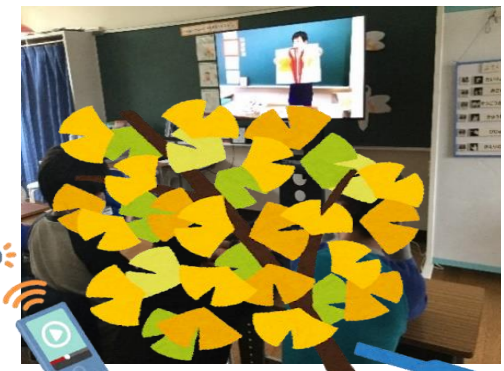
（元進路担当のつぶやき）

F末広のICT活用について

F末広のICT活用についてお知らせします。

先日行われたいぶき祭では、月曜の午前中に体育館で自分たちの活動や発表をまとめた、F末広の動画を見た後、Zoomでつないで一緒に参観したE高等部の生徒からの感想をもらいました。また、B課程、Cかもめ、D弘済、E高等部、G部門の動画発表を末広校舎にいながら見たり、Zoomで感想を伝えたりもできました。いぶき祭のフィナーレでは、各部門課程と映像をつないでみんなでダンスも楽しみました。直接会うことはなかなか叶いませんが、今後もICTの力を借りて、同じ学校の仲間とのつながりを大切にしていきます。

また、今年度のF末広では、各クラスに専用のiPadがあります。例えば、図工や美術の説明に、手元を大きく映した見本動画をTVで見たり、授業での取り組みを動画に撮影してその場で振り返りに活用したりもしています。自分の姿が映ると注目度が高まり、自分の取り組みを見て「がんばった！」「できた！」と思える手がかりとなっています。



11月8日は、いい歯の日でした

10月12日に、歯科保健指導が行われました。感染症対策のために模型を使っての学習でしたが、歯科衛生士の先生の話を聞き、歯ブラシを持って模型の歯磨き体験をしました。暑い季節が終わって過ごしやすい季節になったからか、F末広でも、定期的な歯科通院をしているお子さまが多くなってきたと感じています。歯磨きが難しいこともありますが、継続して取り組み、虫歯を予防していけると良いですね。